

個人投資家説明会



Money Partners

株式会社マネーパートナーズ

2007年12月13日



本資料は、株式会社マネーパートナーズの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2007年12月13日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズにより2007年12月13日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

I. 当社の概要とFX取引

II. 当社の業績について

III. 当社の強みについて

IV. 顧客満足の追求

V. 経営目標および経営戦略

参考資料

I .当社の概要とFX取引

個人投資家



- 当社は、外国為替証拠金取引 (FX) 専門の会社です
- 当社は、取引のほぼ全てをインターネットで行っております
- 当社は、FXを軸にOTCデリバティブサービスを展開していきます

社是

DON'T STOP!

止めない、止まらない。
マネーパートナーズの社是です。

企業理念

投資家の保護育成と顧客第一主義に努め、
外国為替証拠金取引市場の健全な発展に寄与する。

カスタマー
ファースト

イノベーション

バリューアップ

コンプライアンス

Foreign Exchangeの略 ⇒ FX取引

1998年外為法改正



為替取引の完全自由化

個人投資家の取引活発化



マーケットオリエンテッドな取引商品

2005年改正金先法施行



業者の乱立と淘汰（600社→100社強）

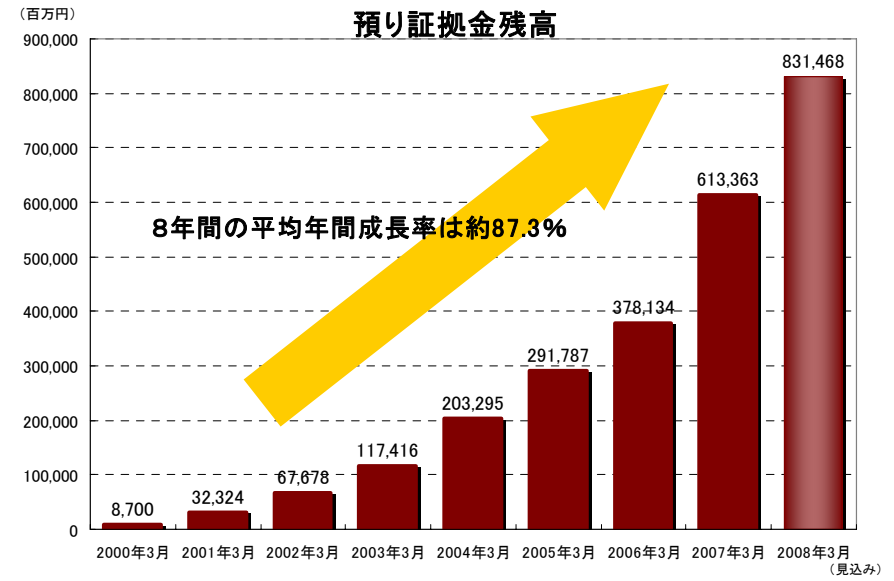
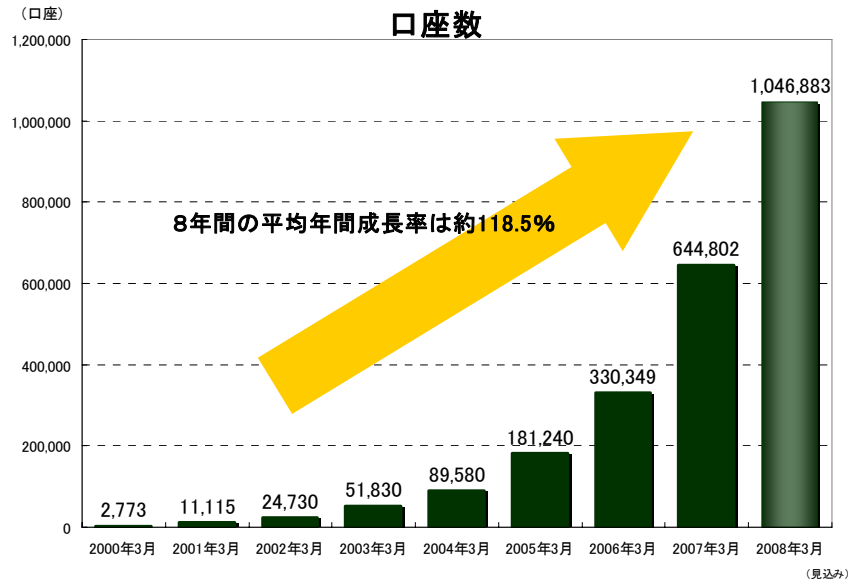
2007年9月金商法施行



証券会社と同種扱いの金融庁管轄に。
透明性や内部管理体制の更なる厳格化

- 激化する競争環境の中、成否二極化の様相！！
- マネーパートナーズはFX専業・ネット専業の業者として業績を拡大しています。

外為証拠金取引を巡る市場環境



(数値は矢野経済研究所調べ)

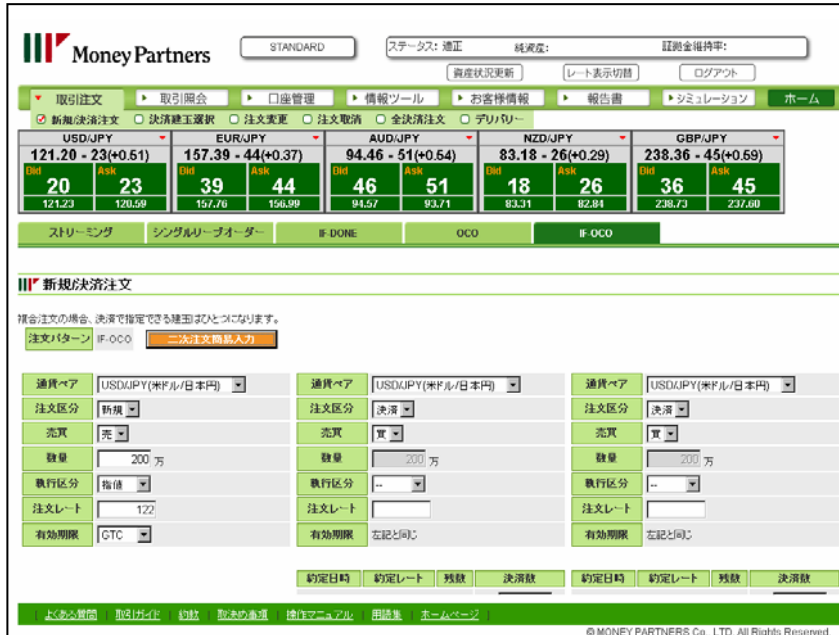
FX取引を取扱う主な証券会社		
証券会社	参入時期	サービス名
松井証券	2001年4月	NetFX
イトレード証券	2003年4月	E*TRADE FX
マネックス証券	2003年4月	マネックスFX
楽天証券	2003年7月	マーケットFX
日興コーディアル証券	2003年4月	外為倶楽部
大和証券	2006年2月	ダイワFX
ジョインベスト証券	2007年2月	ジョインベストFX
カブドットコム証券	2007年5月	外為FX

- 口座数、預り証拠金は毎年約2倍の勢いで増加
- 2005年7月に東京金融先物取引所に「くりっく365」が上場
一般投資家へのFX取引の認知度が急速に高まる
- 2007年9月末現在45証券会社が取扱い開始
- NTTグループやカカコム、サイバーエージェント、GMO
インターネット、エキサイトなどIT系もFX取引を開始
- 来年以降、住信SBIネット銀行、ソニー銀行も参入予定

急拡大を続けるFX市場、証券会社やIT系企業に加えネットバンクも参入表明

パートナーズFXとは

「パートナーズFX」は当社が取扱う外国為替証拠金取引のサービス名称です。



Money Partners STANDARD ステータス: 適正 経産産: 証券金維持率:

取引注文 取引照会 口座管理 情報ツール お客様情報 報告書 シミュレーション ホーム

USD/JPY 121.20 - 23(+0.51) Bid: 20 Ask: 23 121.23 120.59	EUR/JPY 157.39 - 44(+0.37) Bid: 39 Ask: 44 157.76 156.99	AUD/JPY 94.46 - 51(+0.54) Bid: 46 Ask: 51 94.57 93.71	NZD/JPY 83.18 - 26(+0.29) Bid: 18 Ask: 26 83.31 82.84	GBP/JPY 238.36 - 45(+0.59) Bid: 36 Ask: 45 238.73 237.68
---	---	--	--	---

ストリーミング シングルオーダー IF-DONE OCO IF-OCO

新規決済注文

積立注文の場合、決済で指定できる種目とは異なります。

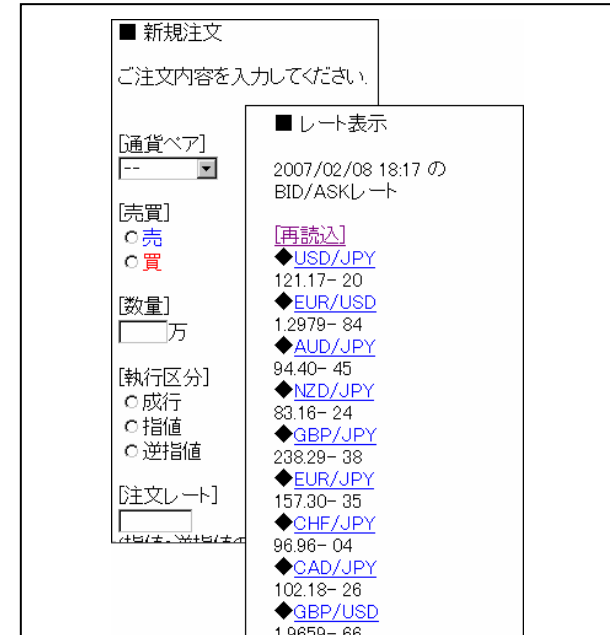
注文パターン IF-OCO 二次注文簡易入力

通貨ペア: USD/JPY(米ドル/日本円)	通貨ペア: USD/JPY(米ドル/日本円)	通貨ペア: USD/JPY(米ドル/日本円)
注文区分: 新規	注文区分: 決済	注文区分: 決済
売買: 売	売買: 買	売買: 買
数量: 200 万	数量: 200 万	数量: 200 万
執行区分: 指値	執行区分: --	執行区分: --
注文レート: 122	注文レート:	注文レート:
有効期限: GTC	有効期限: 左記と同じ	有効期限: 左記と同じ

約定日時 約定レート 残数 決済済 約定日時 約定レート 残数 決済済

よくある質問 取引ガイド 約款 取決の事項 検印マニュアル 用語集 ホームページ

© MONEY PARTNERS Co., Ltd. All Rights Reserved



■ 新規注文
ご注文内容を入力してください。

[通貨ペア]
--

[売買]
○ 売
○ 買

[数量]
[] 万

[執行区分]
○ 成行
○ 指値
○ 逆指値

[注文レート]
[]

■ レート表示
2007/02/08 18:17 の
BID/ASKレート

[再読込]
◆ USD/JPY
121.17 - 20
◆ EUR/USD
1.2979 - 84
◆ AUD/JPY
94.40 - 45
◆ NZD/JPY
83.16 - 24
◆ GBP/JPY
238.29 - 38
◆ EUR/JPY
157.30 - 35
◆ CHF/JPY
96.96 - 04
◆ CAD/JPY
102.18 - 26
◆ GBP/USD
1.0650 - 66

パートナーズFXの顧客用トレード画面

初心者にもわかりやすいインターフェースを採用することで、幅広い投資家層の支持を得ています。

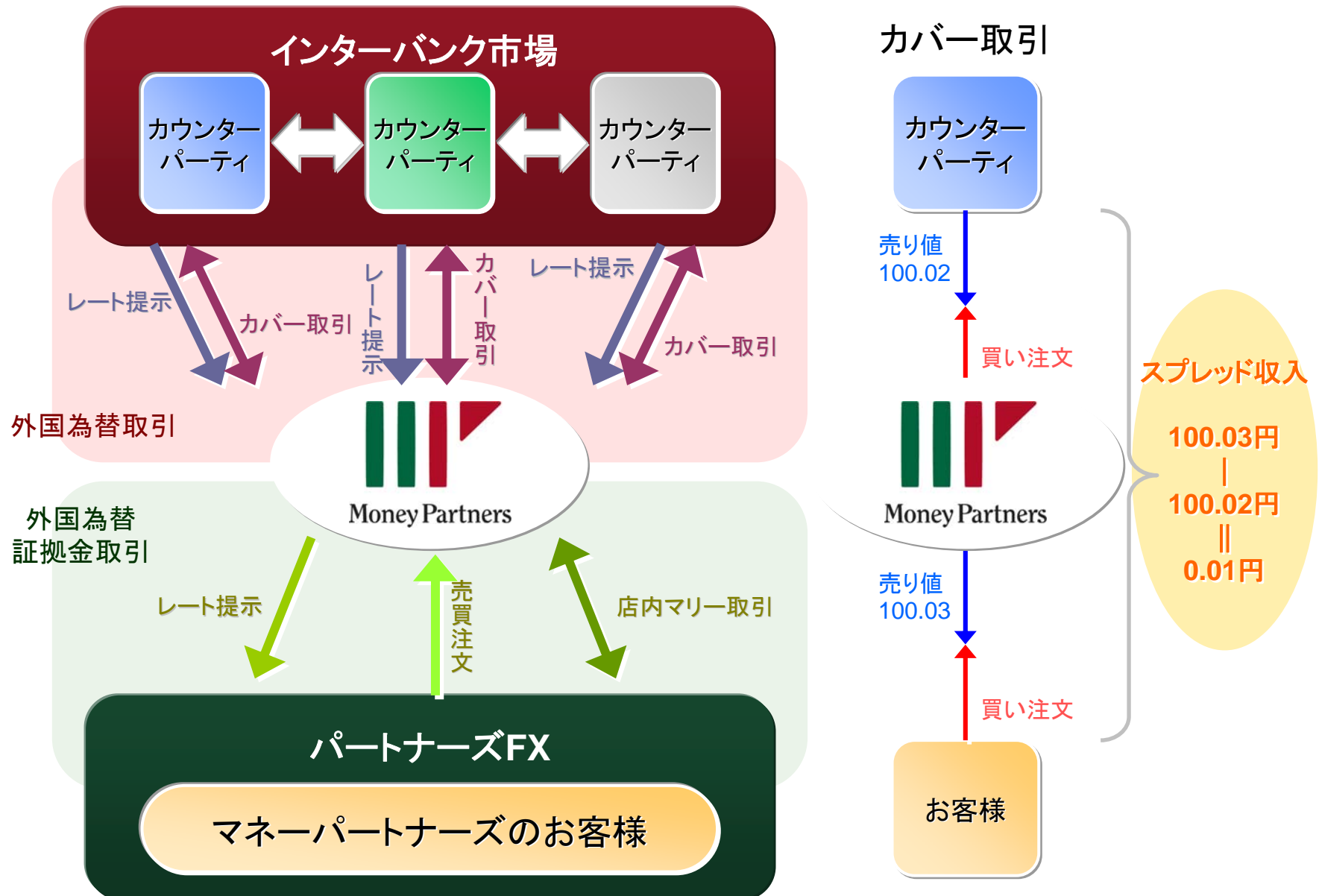
モバイル用パートナーズFXトレード画面

3キャリアに対応しており、24時間(※)動き続けるFX取引をサポート。

当社は、2005年6月に外国為替証拠金取引専門業者として設立し、業界に先駆けて新たなサービスを打ち出し、業界のリーディングカンパニーの1社としてサービスの提供を行っております。

※週末のNY外国為替市場の終了時から、翌週の東京外国為替市場の開始時までを除く

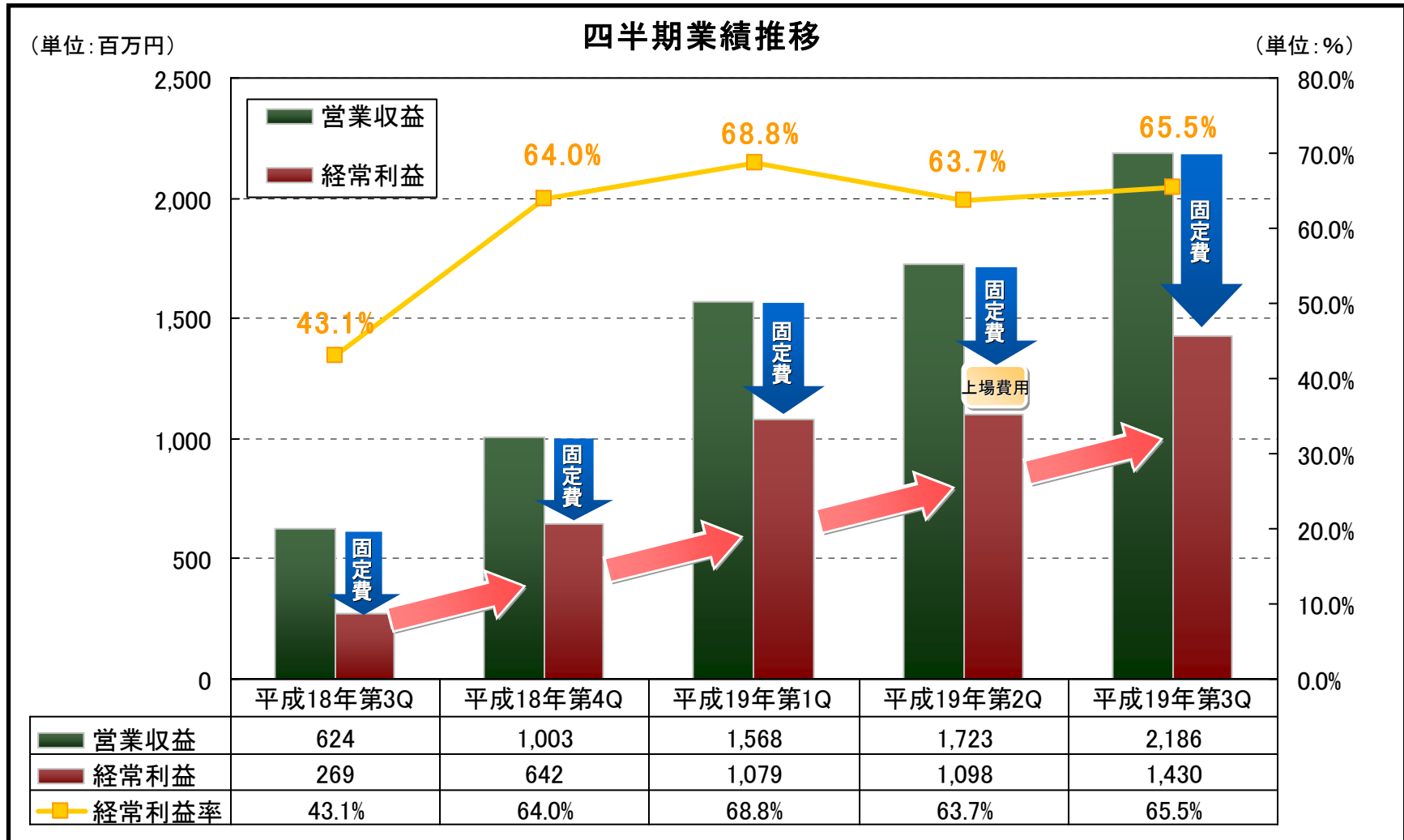
当社の収益構造



II.当社の業績について

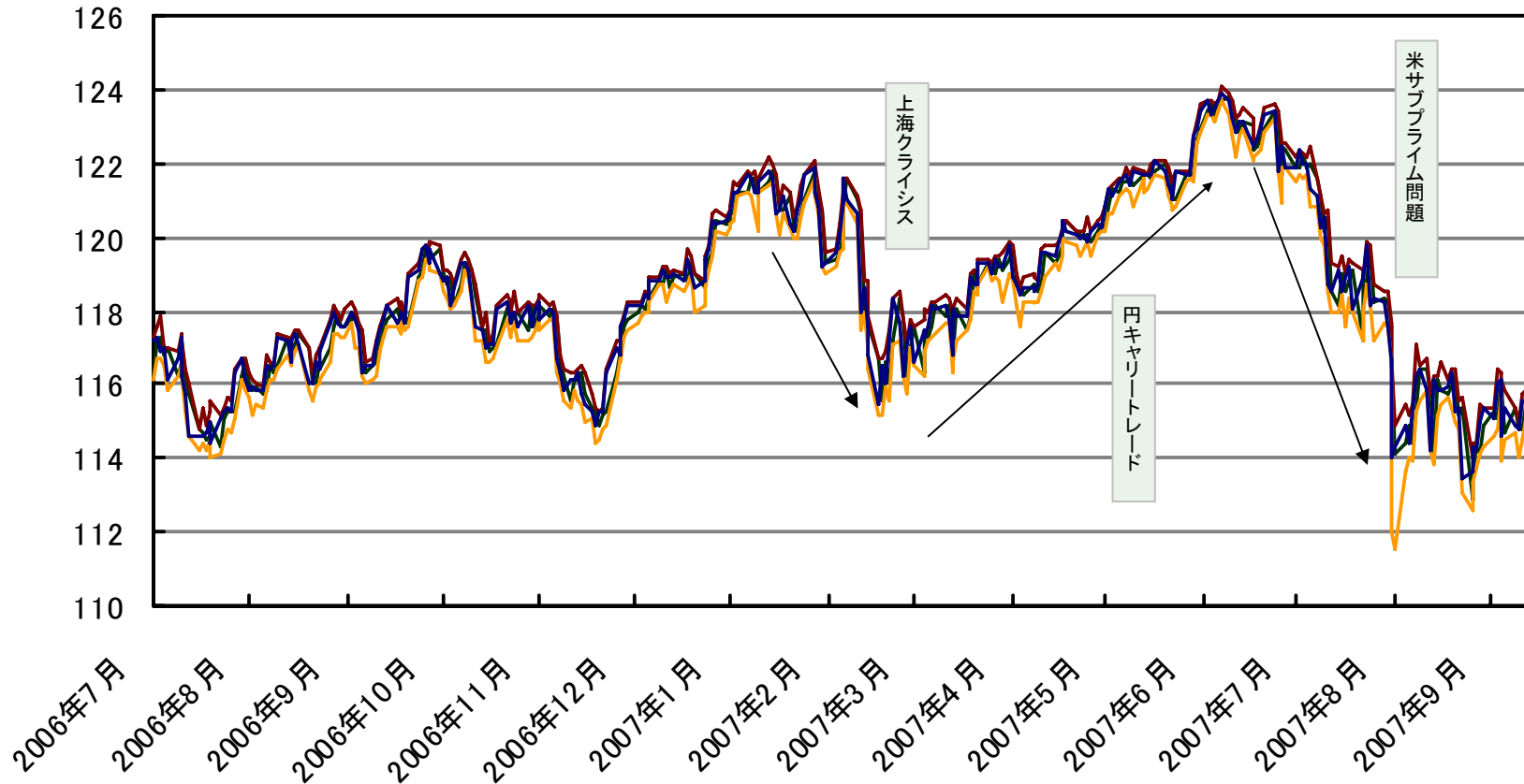
高い経常利益の実現

平成18年第3Qより四半期ベースの連結業績グラフ



相場変動と当社業績の関係

USD/JPY日足チャート

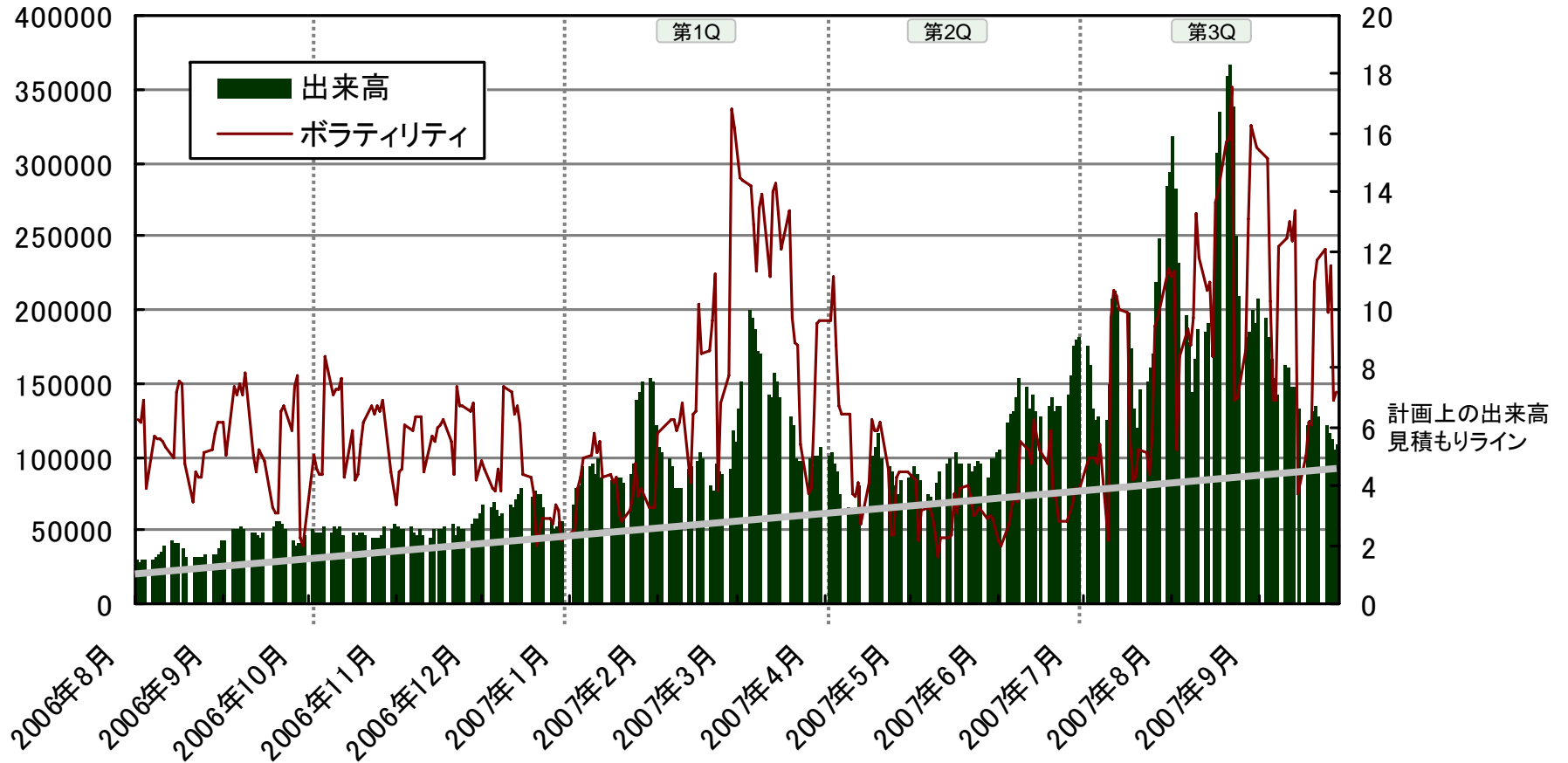


2月末の「上海クライシス」後、日米金利差による「円キャリートレード」でドル高円安傾向
▶ 8月「米サブプライム問題」により短期間で急激なドル安円高に

相場変動と当社業績の関係

出来高・ドル円ボラティリティ

※5日平均値(5営業日のデータを基にした年間ヒストリカルボラティリティ)

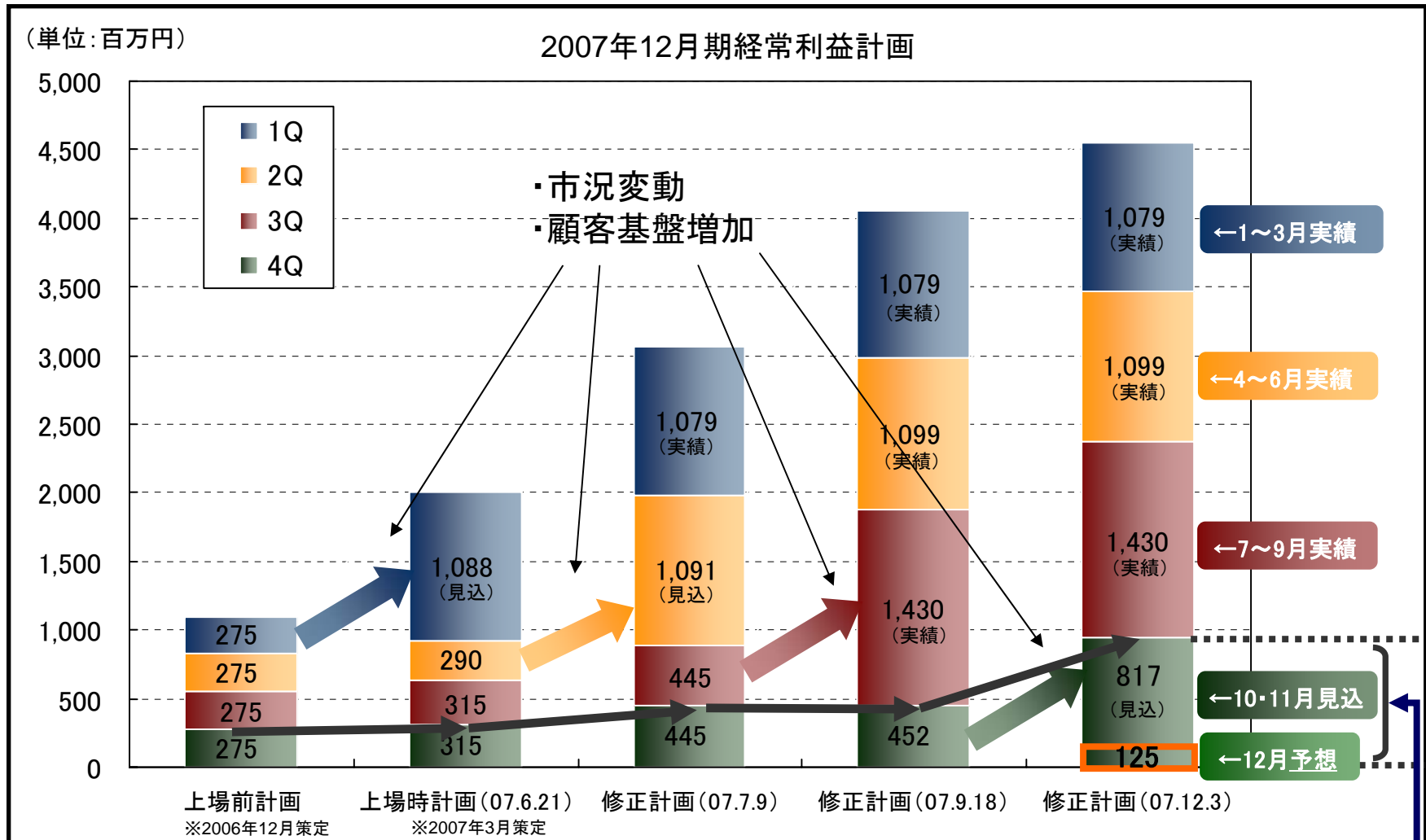


当社の外国為替顧客取引高は、通貨のボラティリティ(変動率)との相関性が極めて高い

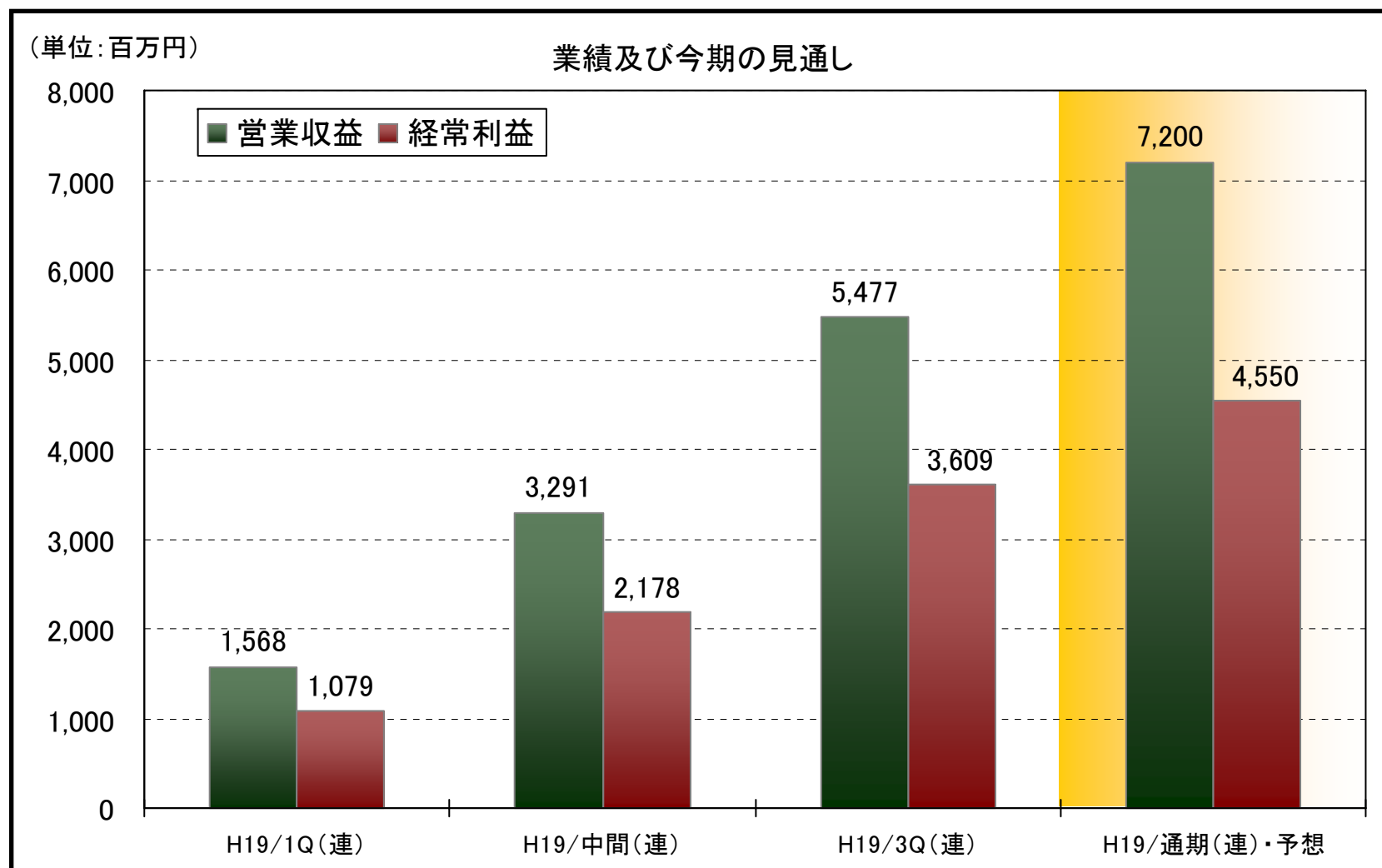


事業計画は、相場が「なぎ」(変動率低)の状態を想定して作成

利益計画の立て方について

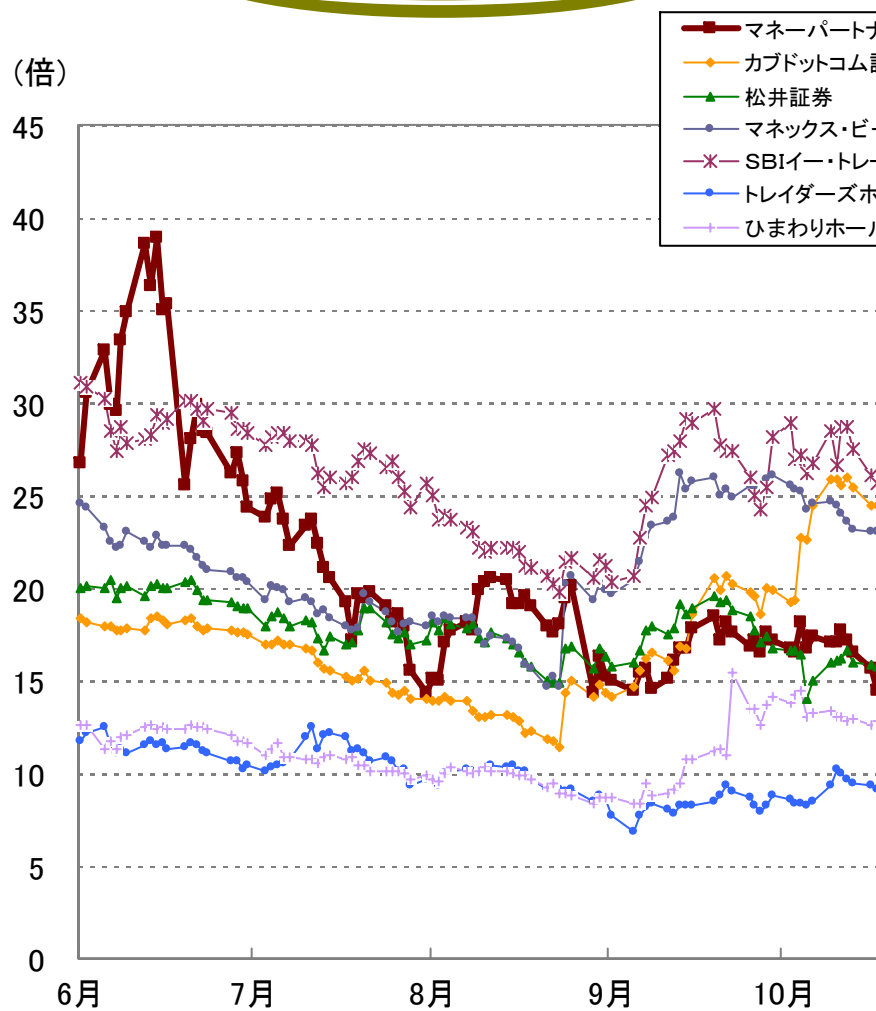


ボトムライン
(最低限達成可能と考えられる利益額)



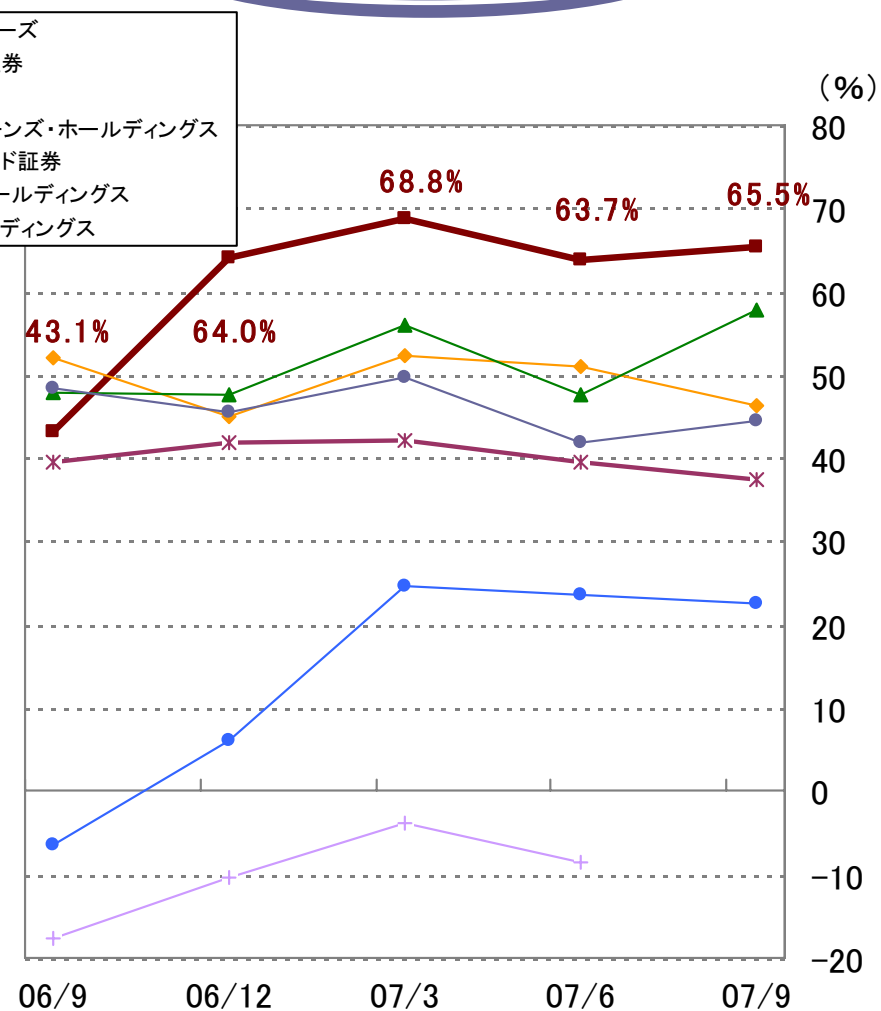
ご参考: ネット証券各社とのPER比較

株価収益率 推移



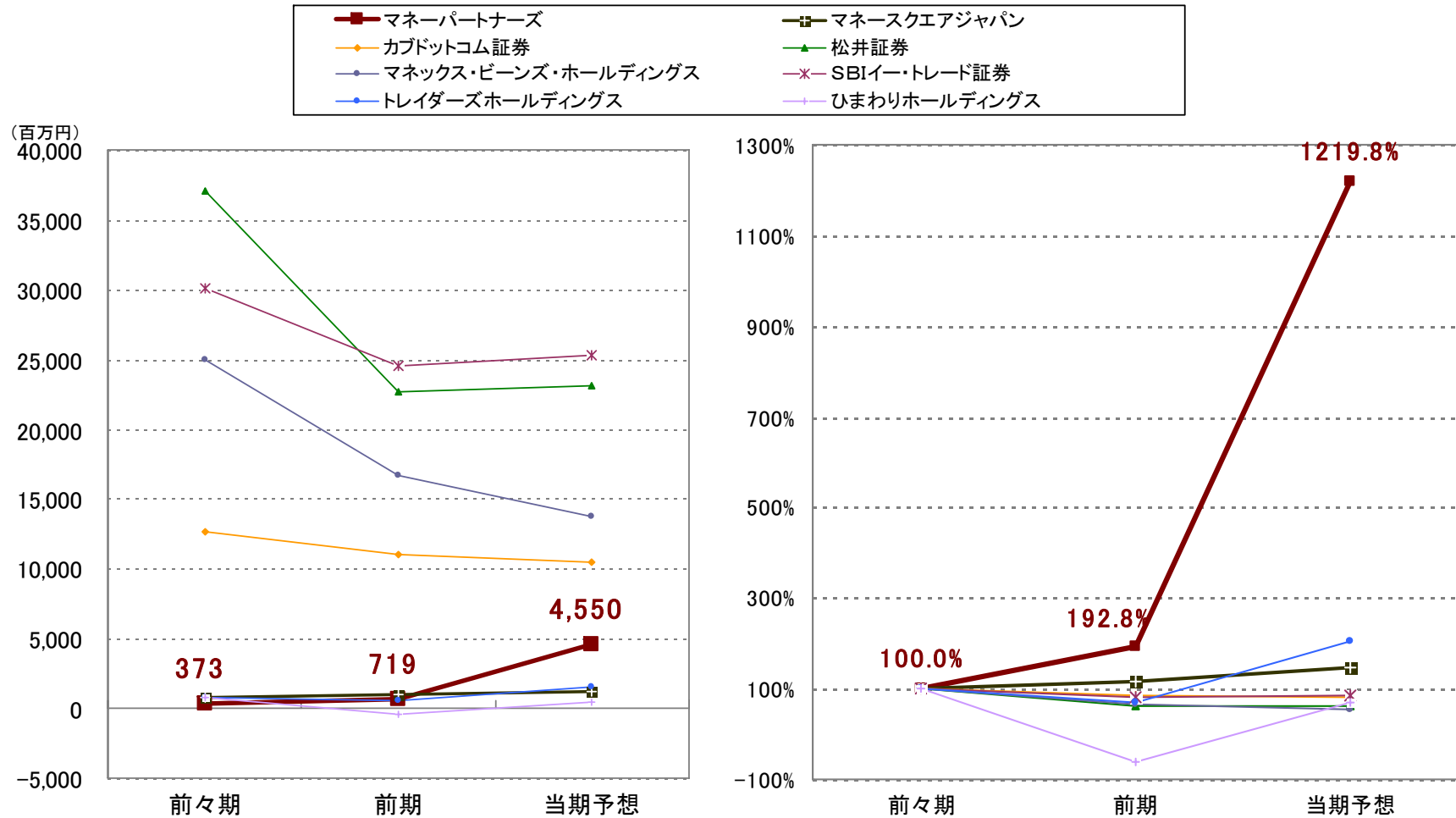
※各社PERの算出のためのEPS計算には、日経会社情報予想の当期純利益を使用

経常利益率 推移



※数値は各社IR資料より当社作成

経常利益 推移



※上記の右グラフは前々期の経常利益の値を100% (基準値) として作成しております。(当社は2005年12月期を基準、他社は2006年3月期を基準)
 前期・前々期の経常利益につきましては各社IR資料を使用、当期予想につきましては各社IR資料および日経会社情報予想の経常利益を使用しております。

III.当社の強みについて

当社の強み

1. トランザクション型ビジネスモデル構築による高収益性

- 手数料や会員費に頼らないトランザクションに依拠した収益構造の優位性
- 国内の同業者の中で早期にインターネット取引手数料無料化を実現したことにより顧客増加→取引量の増加の好循環を実現し、収益は大きく拡大
- 固定費微増、トランザクション急増により、高い収益を獲得

2. アクティブユーザーをコアにした顧客基盤

- インターネットによりデイトレードやスイングトレードを行うアクティブ層の取り込みと定着化に成功
- ビギナー層の取り込み ⇒ アクティブ化への教育・啓蒙 ⇒ アクティブ層の拡大を戦略的に展望

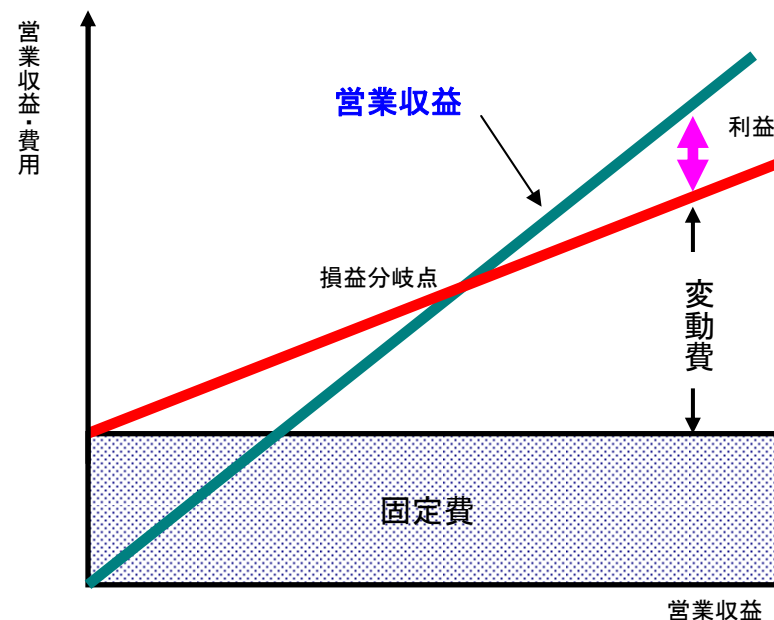
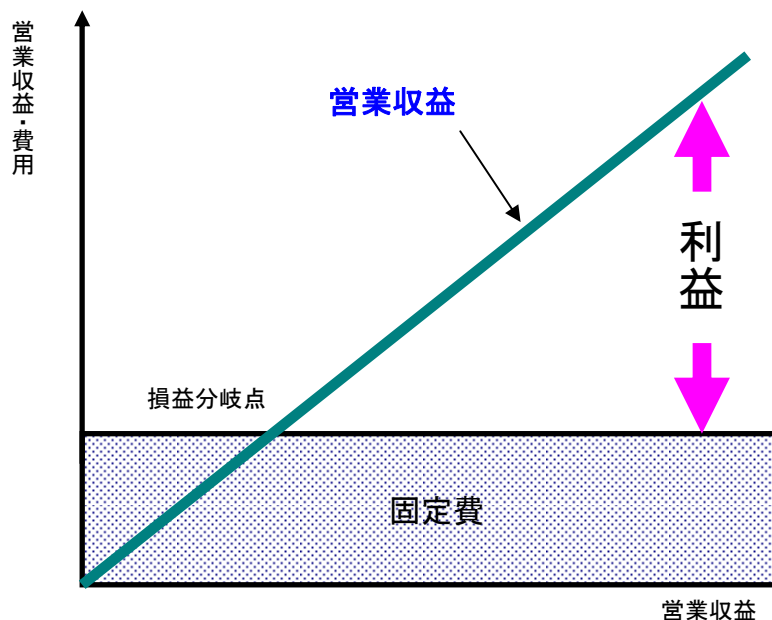
3. 子会社を通じたシステムの内製化

- 100%出資のシステム子会社を設立したことで、柔軟・迅速な対応が求められるネット企業においてシステム設計・開発、自社所有、システム保守・運用に関する優位性を確保

1. トランザクション型ビジネスモデル構築による高収益性 ～トランザクション型ビジネスモデルとは～

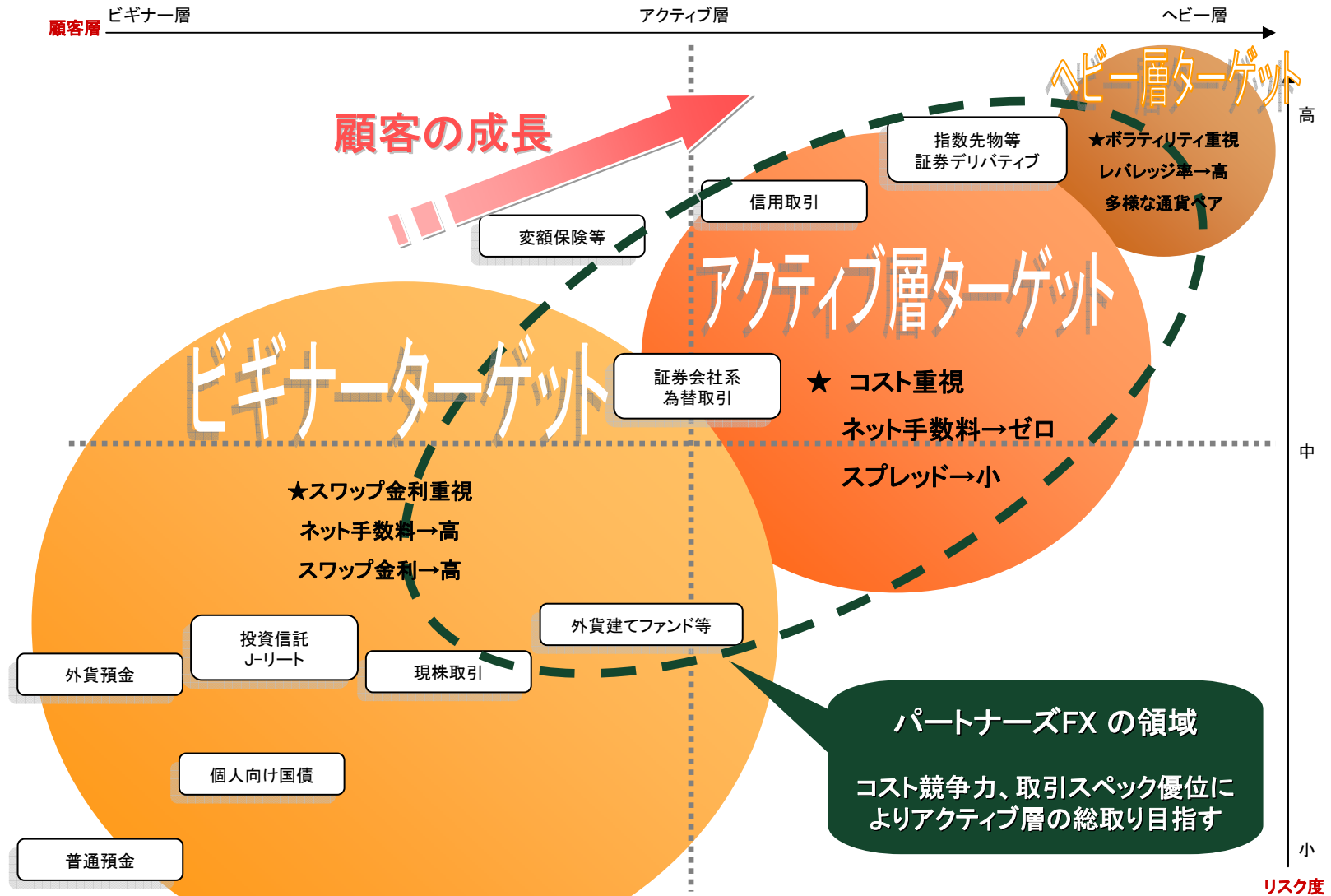
トランザクション型
マネーパートナーズ

非トランザクション型
製造業、小売業・



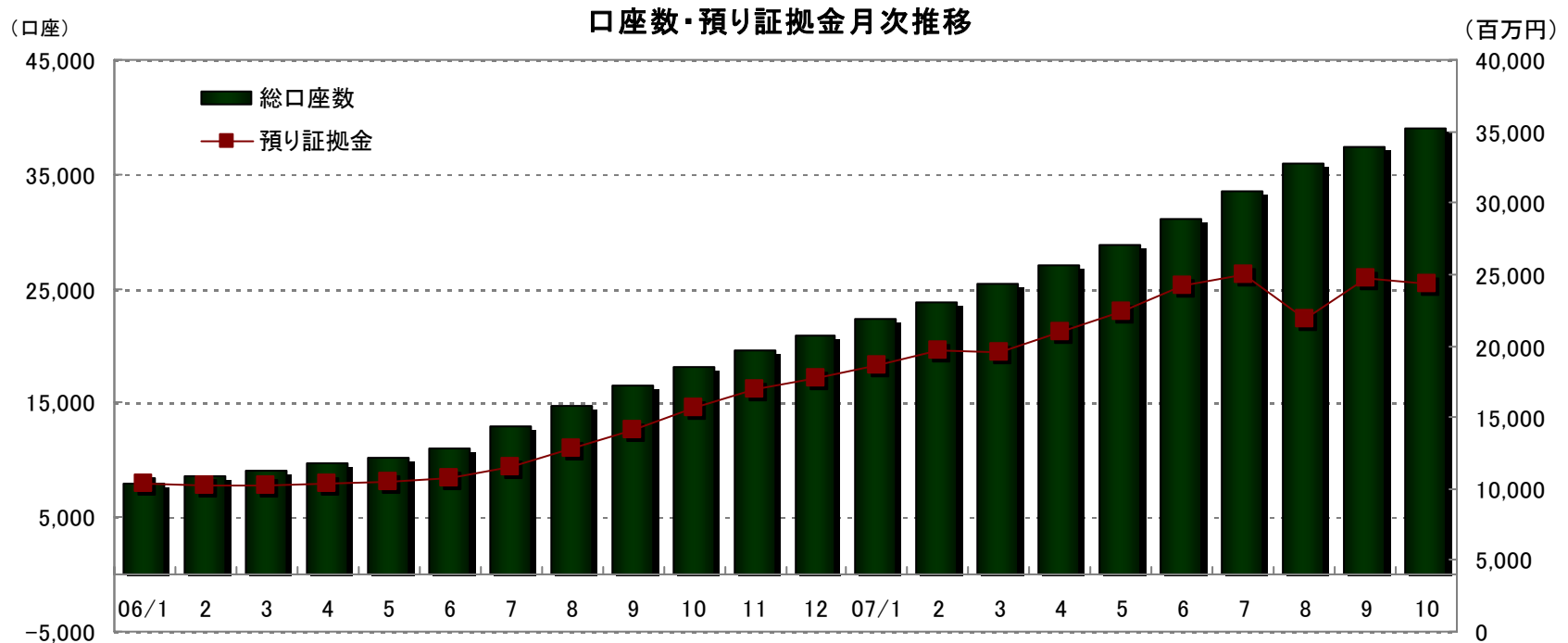
固定費を超える売上がほぼ利益となる事業構造

2. アクティブユーザーをコアにした顧客基盤 ～パートナーズFXの商品特性と顧客層～



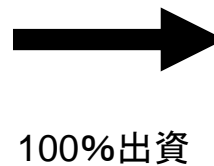
2. アクティブユーザーをコアにした顧客基盤 ～顧客口座数と預り証拠金の推移～

区分	決算期							
	第1期 (平成17年)	第2期 (平成18年)				第3期 (平成19年)		
	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月
【顧客口座数】 (単位:口座)	7,479	9,128	11,063	16,451	20,948	25,458	31,078	37,326
【顧客預り証拠金】 (単位:百万円)	10,399	10,185	10,680	14,095	17,776	19,507	24,188	24,712



口座数は月次平均6.6%ずつ増加、証拠金は240億円を突破

3. 子会社を通じたシステムの内製化 ～システム内製化によるメリット～



株式会社 マネーパートナーズソリューションズ

■設立 2006年9月15日

■代表者 小西 啓太

■資本金 3,000万円

■主な事業内容

外国為替証拠金取引に関するコンピュータシステム設計・開発

◆システム内製化によるメリット◆

1. 独自の保守・運営体制確立によるコスト削減効果
2. 全社戦略に則った計画的・機動的なシステム設計・開発
3. システム自社開発・所有によるBtoBビジネス展開
4. 人材の確保とITスキルの蓄積

今後の当社システム開発における設計・要件の権利化と
合理化・コスト削減を目指す、システム子会社を設立

IV.顧客満足の追求

証拠金、建玉、純資産評価でリスク管理のシステム



為替相場の急変動による損失の拡大リスクについて顧客自ら管理が可能に

第二データセンター及び次期基幹システム

当社の基幹システムにおける主な対応状況と今後の対応予定

- 19年2月 HP Integrity Superdome稼動
- 19年3月 WEBサーバを4台追加し10台構成に増強
- 19年4月 顧客向けアプリケーションサーバを2台追加し4台構成に増強
- 19年8月 WEBサーバ10台を追加し20台構成に増強
- 19年8月 モバイル用サーバを1台追加し3台構成に増強
- 19年9月 顧客向けアプリケーションサーバを2台追加し6台構成に増強
- 19年10月 顧客向けニュースサーバを4台追加し8台構成に増強
- 19年11月 (予定) 約定処理サーバを16Way64bit高速サーバ化
- 19年12月 (予定) ヒストリカルデータベース(チャート等配信用)を増強
- 20年1月 (予定) 第2データセンター稼動
- 20年2月 (予定) 第2データセンターにおいてHP Integrity Superdome追加稼動
ネットワーク、インフラを大規模に増強した環境整備
(19年10月15日適時開示済)
- 20年2月以降(予定) 第2データセンターアプリケーションサーバを順次稼動
次期基幹システムの稼動 (19年9月20日一部適時開示済)

今後の顧客取引拡大を見込み安定的、継続的なサービス提供を可能に

取引システムのブラッシュアップ

■ 11月、リッチクライアント型トレードシステム「Hyper Speed Ver.2.1」をリリース



■ リッチクライアント型トレードシステムのモバイル版「Hyper Speedモバイル」を提供開始



「Hyper Speed」の高機能・多機能化、モバイル化を推進し、顧客利便性を強化

商品性の継続的な向上

■ドル/円3pips恒常化に続き、4通貨ペアのスプレッドをナロー化

7月2日～

通貨ペア	変更前	変更後
ユーロ/円	5pips	4pips
ポンド/円	9pips	8pips
ユーロ/ドル	5pips	4pips
南アランド/円	8pips	6pips

9月28日～

通貨ペア	変更前	変更後
南アランド/円	6pips	4～5pips

取引通貨ペア

パートナーズFXで取り扱っている外国通貨は8種類・10通貨ペア

通貨ペア	USD/JPY	EUR/JPY	AUD/JPY	GBP/JPY	NZD/JPY
	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円	ニュージーランドドル/円
スプレッド	3pips	4pips	5pips	8pips	8pips
通貨ペア	CAD/JPY	CHF/JPY	EUR/USD	GBP/USD	ZAR/JPY
	カナダドル/円	スイスフラン/円	ユーロ/米ドル	ポンド/ドル	南アフリカランド/円
スプレッド	8pips	8pips	4pips	7pips	4～5pips

顧客の取引コスト最小化による顧客満足の追求

取引画面10色、WEBセミナーの提供

■顧客の嗜好に合わせて、FX取引画が10パターン色から選択可能に



standard red-orange
pink-gold monotone-black
monotone-sky white-peach
monotone-blue char-red
classic toricolor

その時々気分自由に



■合計8回のWEBセミナーを実施

- 7月19日 テクニカルセミナー「トレンドを把握して為替相場を読む」
- 24日 女性向けセミナー「FXレッスン-今話題のFXにチャレンジ」
- 8月20日 リスク管理セミナー「リスク管理のコツを伝授」
- 31日 奥山社長セミナー「これからのマネーパートナーズとFX」
- 9月19日 初心者向けセミナー「“売り”の重要性を認識しよう」
- 22日 同
- 26日 初心者向けセミナー「もっと知りたいリスク管理」
- 29日 同

当社の社長、アナリスト、コールセンター職員が、当社の顧客を中心とした受講者に対し、FXの仕組みやリスク管理について講演。顧客の満足度向上策を継続的に展開。

顧客の当社へのロイヤリティ向上のために細やかな施策を実施

金融商品取引法施行に対する対応

平成19年9月30日に施行された金融商品取引法(金商法)に対応するために、契約約款の改訂やホームページの大幅な改訂等、投資家保護及び投資環境を整備。

財務報告に関わる内部統制(J-SOX)対応

平成20年4月1日以降開始する事業年度より、全ての上場企業に適用される内部統制報告制度に備え、「内部統制対策プロジェクト」(責任者:代表取締役社長 奥山泰全)を発足させ内部統制構築に向けた取り組みを開始。

迅速性のある情報の開示を推進

毎月末の「顧客総口座数」及び「顧客預り証拠金」の開示を翌月15日前後に、自己資本規制比率の開示を翌月末に、当社ホームページで継続して開示することを決定。

V.経営目標および経営戦略

高水準のROEおよび営業収益経常利益率の維持

- 当社は、企業価値の最大化のため株主資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指してまいります。
- 効率性を計る尺度として、株主資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ 2007年12月期、第3四半期のROE(年換算※)は56.1%を達成

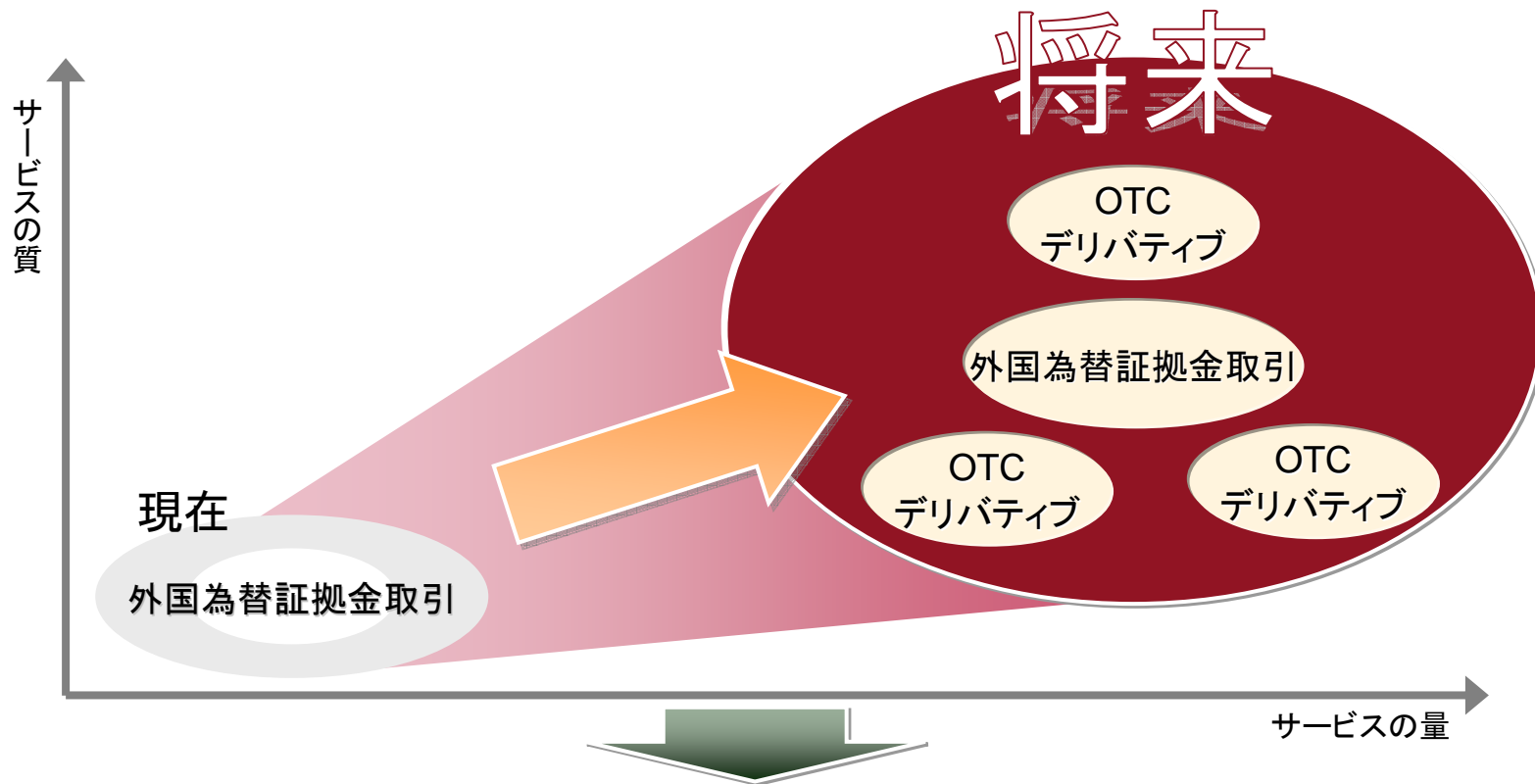
- ・中間期に引き続き、高水準のROEを維持。
- ・ROEの高水準維持のため、更なる効率化を目指します。

※:当第3四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。
$$\text{ROE(年換算)} = (\text{第3四半期純利益} \times 4) \div ((\text{第3四半期期初株主資本} + \text{第3四半期末株主資本}) \div 2) \times 100$$

▶ 2007年12月期、第3四半期営業収益経常利益率は、65.5%となり、4四半期連続で60%越えを達成。

- ・トランザクション型ビジネスモデルによる高水準の利益率。
- ・顧客基盤の安定的な増加と顧客による外国為替取引高の増加を目指します。

- 外国為替拠金取引をビジネスの基軸とし、顧客基盤と収益を拡大させ事業を展開
- 商品性の更なる向上、ツールの洗練化、取引システムの一層の安定化などを通して競争優位を確立
- OTCの特性を活かし、金融デリバティブ商品を展開し、FXに次ぐ収益の柱へ



顧客から信頼され、安心できる会社としての認知を獲得

2007年度12月期より配当を実施

当期より、当社株式を長期保有していただく株主の皆様へ業績に応じて株主配当を行うことで株主利益の最大化を目指してまいります。

配当政策

当期純利益の25%を
配当性向の目処とする予定

配当金額

2007年12月期1株当たり配当金(予定)

基準日	中間	期末	年間
配当金額	—	6,600円	6,600円

※現在のところ1株当たりの配当予想は上記の通りであります。現時点における通期業績予想に基づく配当予想のため、金額は変更される可能性があります。なお、本件は平成20年3月開催予定の第3回定時株主総会に付議する予定です。

2008年1月1日に株式分割(1:3)を実施

2007年12月31日を基準日とし、1株につき3株の割合をもって当社株式を分割することを決定。

株式分割の目的

投資家の皆様により投資しやすい環境を整えるため、株式分割を実施することにより投資金額を引き下げ、当社株式の流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的といたします。

日程

基準日	2007年12月31日(月) ※株主名簿管理人の休業日の関係上、実質基準日は <u>2007年12月28日(金)</u> となります。
権利付き最終日	<u>2007年12月21日(金)</u>
効力発生日	2008年1月1日(火)

※詳細は、弊社ホームページ等に記載されている「株式の分割及び定款の一部変更に関するお知らせ」および「株式の分割に関する取締役会決議公告」をご参照下さい。



Money Partners

株式会社マネーパートナーズ

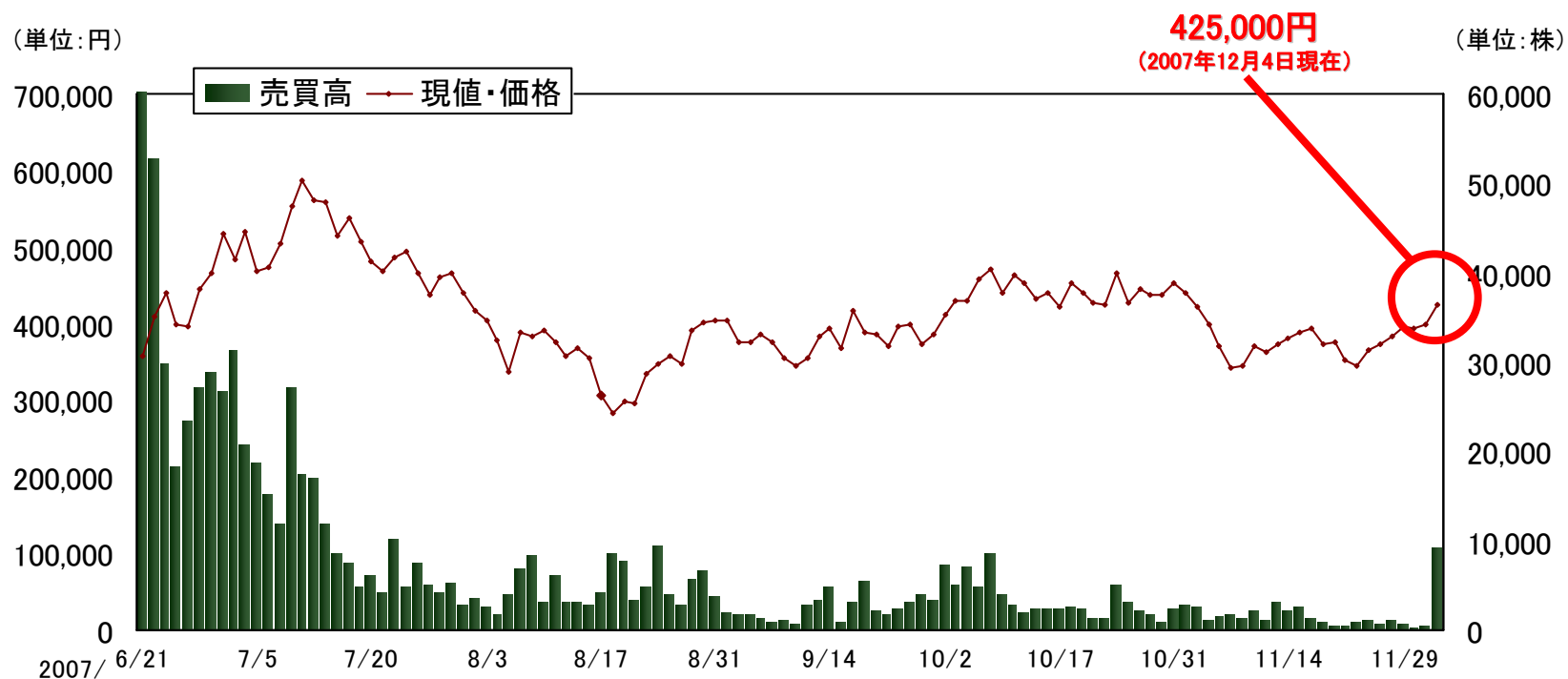
2007年11月13日

参考資料

- ・株式概要/株価チャート
- ・当社の概要と沿革について
- ・パートナーズFXのご紹介

株式概要・株価チャート

証券コード	:	8732
上場市場	:	大阪証券取引所ヘラクレス
上場日	:	2007年6月21日
株式の売買単位	:	1株
発行済株式総数	:	105,450株



- 商号 株式会社マネーパートナーズ

- 本社 〒106-6016 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー16F
- 代表取締役社長 奥山 泰全
- 設立日 2005年6月10日
- 資本金 17億2,631万円（平成19年9月30日現在）
- 登録番号 関東財務局長(金商)第297号

- 主な事業内容
 1. 金融商品取引法に基づく外国為替証拠金取引及びこれに付随する一切の業務
 2. 外国通貨の売買、売買の媒介、取次ぎもしくは代理、その他これに付随する業務
 3. 金融商品取引業及びこれに付随する業務

- 関連会社 株式会社マネーパートナーズソリューションズ
(100%出資子会社)



会社沿革

年月		事項
平成17年6月	新設分割	<input type="checkbox"/> 一般投資家向けにインターネット等を通じた外国為替証拠金取引サービスを提供することを目的として、株式会社マネーパートナーズを東京都港区西麻布(資本金100,000千円)に設立し、外国為替取引事業を開始
平成17年10月	システム一新	<input type="checkbox"/> インターネット取引の利便性の向上を目的として、株式会社シンプレクス・テクノロジーのトレードシステムを採用しシステムを全面的にリニューアル
平成17年11月	本社移転	<input type="checkbox"/> 本社所在地を東京都港区六本木へ移転
平成18年3月	クイック入金開始	<input type="checkbox"/> 金融先物取引業登録(登録番号: 関東財務局長(金先)第117号) 社団法人金融先物取引業協会加入 <input type="checkbox"/> 顧客がインターネットによって常時入金可能な「クイック入金サービス」を開始
平成18年6月	信託保全開始	<input type="checkbox"/> エス・ジー・信託銀行株式会社と業務提携し外国為替取引における顧客資産の信託保全サービスを開始
平成18年7月	レバレッジ 25倍→50倍	<input type="checkbox"/> インターネット取引手数料無料及びレバレッジ約40倍から約50倍のサービス提供を開始
平成18年8月	8通貨→10通貨	<input type="checkbox"/> 南アフリカランド/円、英ポンド/米ドルを加え取引通貨を10通貨ペアに
平成18年9月	システム子会社 設立	<input type="checkbox"/> システム開発力の強化を目的として、株式会社マネーパートナーズソリューションズを100%出資子会社として設立
平成18年11月	レバレッジ100倍 コース開始	<input type="checkbox"/> レバレッジ約80倍から約100倍とする「ハイレバレッジコース」のサービス提供を開始 <input type="checkbox"/> モバイル取引において複合注文機能を実装
平成19年1月	ロゴ・HP一新	<input type="checkbox"/> CI政策を実施しコーポレートマーク、コーポレートカラー、ホームページを一新 <input type="checkbox"/> 証拠金定額制の導入
平成19年6月	プライバシー マーク取得	<input type="checkbox"/> 「プライバシーマーク」認定取得[認証番号: 第A680011(01)号]
平成19年6月	上場	<input type="checkbox"/> 大阪証券取引所ヘラクレスに上場(証券コード: 8732)

平成18年7月よりインターネット取引手数料の完全無料化

パートナーズFX の特徴① ～ネット取引がほぼ100%～



URL <http://www.moneypartners.co.jp/>

初心者にもわかりやすいコンテンツや著名な執筆者によるコラムなど数多く用意しております。

ネットを介した取引がほぼ100%を占め、新規の口座開設もほとんどのお客様が当社のホームページ経由でお申込みされています。

パートナーズFX の特徴② ～充実した情報ツール～

為替は24時間(※)世界中で取引されており、レートも様々な要因で変動します。
世界情勢や重要な経済指標・要人発言はもちろん、テクニカル的な要因でも大きな変動をみせます。
そこで必要な情報として、マネーパートナーズでは、複数のチャートツールと複数のニュースをお客様に提供し、
投資判断を行う際にお役立ていただいております。

チャート: 高機能アプリケーションチャートシステム「ハイパースピード」
に加え、WEB版チャートシステム「MP Chart」など3種類

アジャンタチャート

MPチャート

ハイパースピード

ニュース: 「ロイターニュース」や1日150本以上のニュース
が配信される「Market Win24」など、3種類

Fiscoニュース

ロイターニュース

MW24

セミプロ層を中心に初心者まで幅広くサポート

※週末のNY外国為替市場の終了時から、翌週の東京外国為替市場の開始時までを除く

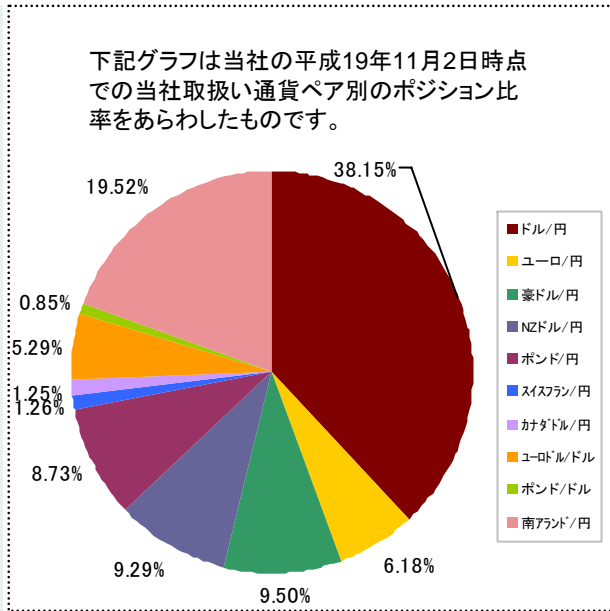
パートナーズFX の特徴③ ～ 主要な通貨ペアに対応～

米ドルやユーロといった主要通貨をはじめ、高金利通貨として人気を集めるオーストラリアドル・ニュージーランドドルなどを取扱っています。

投資家のニーズに合わせて、各通貨ペアとも、インターバンク市場での取引単位の約100分の1となる10,000単位での取引を実現

当社取扱い通貨ペア

	USDJPY 米ドル円		AUDJPY 豪ドル円
	EURJPY ユーロ円		NZDJPY NZドル円
	GBPJPY 英ポンド円		ZARJPY 南アランド円
	CADJPY カナダドル円		CHFJPY スイスフラン円
	EURUSD ユーロ米ドル		GBPUSD 英ポンド米ドル

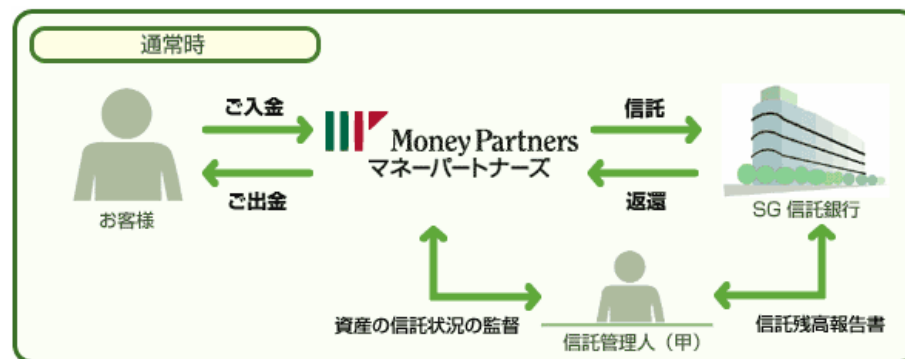


今後もお客様のニーズに合わせて取扱い通貨を増やしていく予定です。

パートナーズFX の特徴④ ～信託保全～

外国為替証拠金取引は、金融商品取引法に基づき、顧客資産の分別管理が義務付けられております。当社は、SG信託銀行と信託契約を締結し、顧客資産を信託口座にて分別管理しております。信託口座による分別管理を行うことで、当社が万一破綻した場合にも、信託管理人によって信託管理人口座からお客様へ直接返還される仕組みになっています。

お客様からのお預り資産は
全額信託銀行にて管理



万一の破綻時には、お客様へ
全額信託管理人口座より
直接返還されます

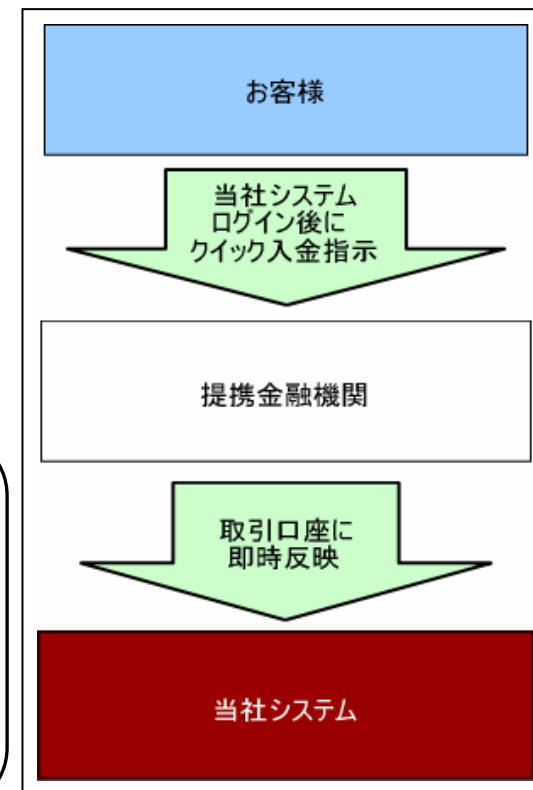


お客様に安心してお取引いただける環境を提供しております。

パートナーズFX の特徴⑤ ～クイック入金～

取引システム上で提携している金融機関から即時に取引口座に入金が行えるサービス「クイック入金」

クイック入金の特徴	
1	取引画面からスピーディな入金
2	入金手数料無料
3	24時間 ^(※) いつでも入金可能



提携先金融機関



三井住友銀行

三井住友銀行

みずほ銀行

みずほ銀行



ジャパンネット銀行

ジャパンネット銀行



イーバンク銀行

イーバンク銀行



ゆうちょ銀行

ゆうちょ銀行



三菱東京UFJ銀行

三菱東京UFJ銀行

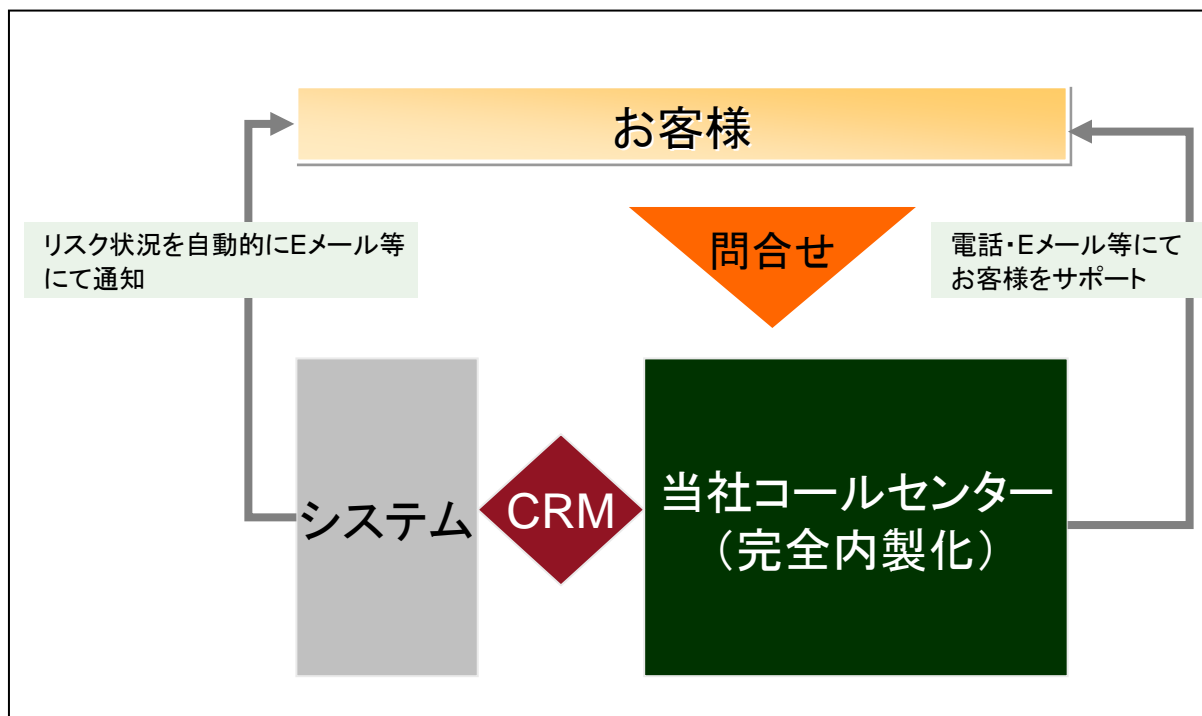
平成19年4月末 現在
提携金融機関は今後も追加していく予定です。

各種金融機関と提携することにより、動き続ける為替市場でのリスク管理や投資の機会損失に備える手段を提供しております。

※システムメンテナンス時間を除く

パートナーズFXの特徴⑥ ～コールセンター～

ネット取引が主体である当社においても、まだ新しい金融商品であるFX取引では、お客様からの様々なご質問・ご要望をサポートする体制を整えることが、重要であると考えております。
当社では品質を主体的に管理することを目的とした上で、コールセンターを内製化し、システムとの連携を図った上で、24時間お客様に安心と信頼のサービスを提供しております。



24時間3交代(15名)制で顧客管理・サポートを徹底

パートナーズFXは、取引通貨の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売り付けた際の清算金額が買い付けた際の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じることとなるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回ることとなるおそれがあります。

取引手数料はインターネット取引の場合、新規・決済共に無料(電話取引の場合は10万通貨単位未満の取引では1通貨単位あたり片道20銭、10万通貨単位以上の取引では1通貨単位あたり片道10銭)。取引に必要な証拠金は1万通貨単位あたり1万円(ハイレバレッジコースの場合5千円)から5万円で、通貨ペアごとに異なり、証拠金の約50倍(ハイレバレッジコースは約100倍)までの取引が可能です。各通貨の売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者)
〈登録番号〉関東財務局長(金商)第297号
〈加入協会〉社団法人 金融先物取引業協会(会員番号1540)